

春日台だより 第5号

～学校教育目標～

すすんで学ぶ人 こころ 精神と身体からだの健康な人 責任を重んじる人 心豊かであたたかい人

令和6年4月8日
綾瀬市立春日台中学校
校長 吉田 勉

始業式での校長先生のお話を掲載します。

「94.3%で良いのか？」

皆さん、お早うございます。きょうから令和6年度の新しい学校生活が始まります。皆さん、学年が一つずつ上がりました。進級おめでとうございます。

新年度の始まりにあたり、私から皆さんへ「94.3%」というテーマで話をしたいと思います。

この「94.3%」というのは、昨年の2学期の終わりの頃に皆さんに答えてもらった「学校アンケート」のある項目に対して、「とてもそう思う」「そう思う」と答えた生徒の割合です。

その項目は、「あなたは、友人に対して思いやりの気持ちをもって接するように意識していますか」という質問でした。

「94.3%」という割合はとても高い数値だと思います。でも私は、この数値を見た時に「94.3%で良いのか？」と思いました。

「あなたは、友人に対して思いやりの気持ちをもって接するように意識していますか」という質問ですから、「意識している」か「意識していないか」を答えることになります。

思っている、意識している、なかなか行動に表せないこともあると思います。どのように行動すれば良いのか分からない。行動したいのだけれど、行動する決意や勇気をもてない。そういう場合もあると思います。

でも、「相手に対して思いやりの気持ちをもって接するようにしよう」ということ、意識することは、皆さん全員ができることではないでしょうか。だから、「94.3%で良いのか？」と思ったのです。

では、相手が嬉しくなるような接し方とは、どのようなものなのでしょう？

私は、挨拶が基本になると考えています。挨拶は、相手との良い関係を築くために不可欠の言葉です。相手とのコミュニケーションの基盤である挨拶を意識して、春日台中学校を挨拶のあふれる学校にしていきたいと、私は考えています。皆さんがこのことを理解して、挨拶をとおして相手への思いやりの気持ちをより一層高めていくことを期待しています。

